

1 基本情報

大項目	たくましい都市活づくり
中項目	地域産業の振興
小項目	農業
施策の方針	農産物の供給・緑豊かな景観の提供・交流の場の創出・地域文化の継承など、多面的な役割を果たす農業を地域の産業として健全に守り育てるため、農地の保全や農業基盤の整備を図るとともに、農業経営の安定化・強化への支援を行います。また、担い手の育成、生産団体の支援などにより、魅力ある将来性の高い農業への道筋を作っていきます。さらに、安心・安全な農作物の提供、地産地消の推進とともに、農業体験や市民農園を通じた市民交流を促進します。

2 現況と課題（平成31年度末の状況）

- 後継者や新規就農者の確保には、農業経営での安定した収入の確保が必要です。
 - 市民が農業に親しむ機会を増やすとともに、農業経営の多角化策として体験農園の拡大が期待されています。
 - 農業者の高齢化や減少により遊休農地が生じており、その有効活用のため、担い手の確保が必要となっています。また、農業振興地域の農用地区域で、住宅地と農地が混在する等、農地の荒廃・遊休化・転用が進んでおり、農地の保全と、農地としての有効利用のための効率化・高度化が必要となっています。
 - 多くの市民が地元の農産物を知り、消費する地産地消を拡大する必要があります。
 - 農業生産には農道、用排水路等のハード面に対する支援も必要です。
- <法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	R2
事業費(予算)	69,744	58,755	73,337	68,490	51,863
人件費(予算)	123,870	112,309	115,612	116,288	120,876
合計	193,614	171,064	188,949	184,778	172,739
対前年比	—	88%	110%	98%	93%

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	50%	3/6
未達成	B 前年度より改善しているもの	50%	3/6
未達成	C 前年度より改善していないもの	0%	0/6

4 主な指標の取組状況

達成状況	No.	指標名		各年度実績値						政策評価		取組内容とその評価・今後の方針
				H27	H28	H29	H30	H31	R2	H28-H31平均上:実績 下:目標	4年間における達成度	
				各年度目標値								
課名	指標の説明(計算式)	方向性	—	H28	H29	H30	H31	R2				
1	B	経営改善計画が認定された農業者の割合		3.3	3.3	3.1	3.2	3.2	—	3.2	★	認定農業者とは、農業経営基盤強化促進法に基づき、農業経営改善計画(5年間)を市町村が認定した農業経営者または農業生産法人のことであり、国庫補助や融資などの各種支援の対象となる。認定者数の増加に向けて普及啓発に努めていく。
農政課	農業者のうち、地域農業再生協議会で経営改善計画が認定された農業者の割合(累計)	／ %	—	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3		
2	B	体験農園の開設数		3	3	3	3	3	—	3.0	★	上尾市産業振興ビジョンの「スタートアップ事業」として位置づけ、これまで3園の開設をしていたが平成31年度には希望者がいなかった。農地活用と新たな農業経営に関する手法の一つとして重要であることから、農業者へのPRを行いながら開設数の増加に努めていく。(休園1)
農政課	開設された体験農園の数(累計)	／ 園	—	4	4	4	4	4	4	4.0		
3	A	利用権が設定された農地の面積		55	46	61	61	64	—	58.0	★★★	農地を貸したい地権者と農地を借りて作付面積を増やしたい耕作者の意見を市がとりまとめ、期間を定めて耕作者へと貸与する。平成31年度は更新しなかった農地もあるため実績値に増減はなかったが、利用権設定期間の再設定及び平方メートル地区における中間管理事業(農地中間管理機構を通して、一括借り上げと貸付を行う事業)により、約3.5haの土地において10年間の長期の利用権設定ができた。今後も農地集積を促進していく。
農政課	利用権設定促進事業に基づき利用権が設定された農地の面積(累計)	／ ha	—	46	54	63	63	63	56.5			
4	B	あげお朝市の年間売上額		314	332	335	297	326	—	322.5	★★	あげお朝市は、毎月第4土曜日に実施しておりイベントとして定着しつつあるが、昨年度は出店数の減少もあり売上額が減少した。他イベントとの連動制を高めることで「あげお朝市」を盛り上げ、売上額を向上させていく。
農政課	「あげお朝市」の年間の売上額(単年度)	／ 万円	—	330	340	340	340	340	337.5			
5	A	自己保全管理を含めた耕作放棄地解消面積		1.80	13.0	22.8	6.40	5.8	—	12.0	★★★	平成29年度から利用状況調査にタブレット端末を導入したことにより、一筆ごとの厳密な調査を行えるようになった。平成30年度も錯誤が少なからず残っていたよう解消面積の増大となったが、目標値は2.0haの解消が現実的である。
(農政課) 農業委員会事務局	自己保全管理を含めて耕作放棄地が解消された農地の面積(単年度)	／ ha	—	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0			
6	A	多面的機能支援事業の対象となっている農地の保全面積		75.3	75.0	74.8	74.8	58.5	—	70.8	★	農産物の供給、緑豊かな景観の提供、交流の場の創出及び地域文化の継承など多面的な役割を果たす農業を地域の産業として健全に守り育てる取り組みを市内5つの地域で行っている。(計画年度H26~H30年度)令和2年度は、引き続き4つの地域内での環境保全事業を支援するとともに、隣接または他地域での取り組みについて検討していく。
農政課	多面的機能支援事業の補助対象となった農地の面積(単年度)	／ ha	—	75.3	75.3	75.1	58.1	58.5	71.0			
7									—			
8									—			
9									—			
10									—			
11									—			
12									—			

1 基本情報

大項目	たくましい都市活づくり
中項目	地域産業の振興
小項目	商業
施策の方針	魅力と一体感をもった取組を行うことにより、中心市街地のにぎわいの創出を図ります。 また、地域の商店街や商店が積極的に魅力の向上に努め、地域コミュニティとの連携を支援します。 さらに、大型店などが地域の一員としての自覚を持ち、地域貢献を行うほか、地域の商店街や商店と連携して、共存共栄に向けた取組を支援します。

2 現況と課題（平成31年度末の状況）

- 市内商業の多くを占める中小小売店は、その数や売上額が年々減少しており、経営の安定化が必要です。
 - 新たな商業の魅力をつくる一環として、同業種・異業種間の交流・連携や新たな顧客の獲得によるにぎわいづくり、起業に対する支援が必要です。
 - 商店街の活性化を図るためには、地域大型店との連携や商店街が行う環境整備、各種イベントに対する支援が必要です。
 - 中心市街地でも空き店舗が増えており、長年の開催で定着したイベントを、にぎわいの創出だけでなく、交流等により魅力ある店舗づくりにつなげていく必要があります。
- <法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	R2
事業費(予算)	50,828	52,393	46,342	52,055	55,455
人件費(予算)	9,414	41,041	33,112	43,774	34,208
合計	60,242	93,434	79,454	95,829	89,663
対前年比	—	155%	85%	121%	94%

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						政策評価		取組内容とその評価・今後の方針
				H27	H28	H29	H30	H31	R2	H28-H31平均上:実績 下:目標	4年間における達成度	
				各年度目標値								
課名	指標の説明(計算式)	方向性	単位	—	H28	H29	H30	H31	R2			
1	C	中小企業サポート件数(商業分野)		2	0	0	0	0	—	0.0	★	個別の求めに応じて課題解決に向けたサポートを実施している。創業相談をはじめ、窓口対応で済む事例が多く、コーディネーターの派遣まで進む事例が少ない。経営の安定化に向けて推奨土産品の販売、市内を周遊するイベントを通し、個別店舗の売上、商品のPRを進めてきた。今後は、上尾商工会議所とも連携し、個別店舗の経営サポートを強化していく。
		商工課	商業分野で中小企業サポート制度を利用した件数(単年度)	件	—	2	2	2	2	2		
2	C	農工商観ポータルサイトの訪問者数		166,395	170,206	267,814	454,081	448,025	—	335031.5	★★★★	SNSを利用したPR活動を強化し、レシピサイトとの連携、花火大会のLive配信など関心の高い発信を続けたことで、「あげポタ」の訪問者数は毎年増加した。今後は、より効果的な情報発信を図るべく、現在のポータルサイトを廃止し、SNSを中心とした情報発信に切り替えるとともに、インフルエンサーを活用した情報発信も行っていく。
		商工課	農工商観ポータルサイトにアクセスした件数(単年度)	件	—	252,000	288,000	288,000	500,000	—		
3	C	商店街環境整備事業・商店街活力再生事業の補助件数		12	11	10	10	6	—	9.3	★	商店街が実施する街路灯整備等及び販売促進事業等に対する補助は、商店数が減少する中で商店街の維持・活性化に向けて実施しているため、補助件数を維持していく。
		商工課	上記の事業による補助を受けた件数(単年度)	件	—	11	11	11	11	11.0		
4	—	「まちフェス」の参加店舗数・来場者数		10	9	9	—	—	—	9.0	★★★★	上尾駅を中心とした東西のショッピングエリアで、中心市街地の賑わい創出を目的に、音楽をテーマにしたイベント「まちフェス」を開催していたがH29で終了。H30から、新規イベント「キッズダンスフェス」(来場者:5,000人、主催者発表)を「あげおイルミネーション」、上尾商店街連合会が主催する「サンクスフェスタ(年末大売出し)」と同時に開催することで来場者の回遊性を高めてきた。今後も実施主体である上尾商工会議所と協力しながら魅力あるイベントを育てていく。
		商工課	「まちフェス」に参加した店舗の数(単年度)	件	—	9	9	9	—	—		
5	—	「まちフェス」の参加店舗数・来場者数		15,000	15,000	15,000	—	—	—	15000.0	★★★★	上尾駅を中心とした東西のショッピングエリアで、中心市街地の賑わい創出を目的に、音楽をテーマにしたイベント「まちフェス」を開催していたがH29で終了。H30から、新規イベント「キッズダンスフェス」(来場者:5,000人、主催者発表)を「あげおイルミネーション」、上尾商店街連合会が主催する「サンクスフェスタ(年末大売出し)」と同時に開催することで来場者の回遊性を高めてきた。今後も実施主体である上尾商工会議所と協力しながら魅力あるイベントを育てていく。
		商工課	「まちフェス」に来場した人の数(単年度)	人	—	15,000	15,000	15,000	—	—		
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												

5 主な指標の達成状況

達成	指標	達成率	件数
達成	A 目標に達しているもの	0%	0/3
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0/3
未達成	C 前年度より改善していないもの	100%	3/3

1 基本情報

大項目	たくましい都市活カづくり
中項目	地域産業の振興
小項目	工業
施策の方針	地域で伝えられてきたものづくりの技術を磨き上げ、市内の中小企業が高い競争力・収益力を持つことができるよう支援します。また、これまで培われてきたネットワークをもとにした同業種・異業種間交流、産学官連携などによる、共同研究や共同受注などの自主的な取組や、技術開発・販路開拓、人材育成に対する支援を行います。

2 現況と課題（平成31年度末の状況）

- 本市の工業の多くは二次・三次加工の中小企業が多く、経済変動等の影響を受けやすいため、経営の安定化が重要です。
- 個々の企業の経営基盤を安定させるには、市内外の同業種・異業種間での交流・連携による技術や製品の開発・PR等が必要です。
- 「中小企業サポート事業」における企業訪問については、平成29年度から実施の『企業連携コーディネート業務』に統合している。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	R2
事業費(予算)	37,008	48,188	28,655	27,164	33,316
人件費(予算)	18,911	21,883	20,231	11,463	24,752
合計	55,919	70,071	48,886	38,627	58,068
対前年比	—	125%	70%	79%	150%

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						政策評価		取組内容とその評価・今後の方針
				H27	H28	H29	H30	H31	R2	H28-H31平均上:実績下:目標	4年間における達成度	
		課名	指標の説明(計算式)	方向性	単位	各年度目標値						
1	A	中小企業サポート件数(工業分野)	13	5	5	37	9	—	14.0	★★★	H28から「ものづくりのまち上尾推進事業」に統合し、製造業に特化した幅広い支援(販路及び取引の拡大、後継者育成・人材確保)を進めている。具体的には、産業支援機関等で構成する「プラットフォーム」で企業マッチングを行い、成約実績:6件。「前向きな企業」に対する訪問型の支援を計70回(3社計)実施。今後も「企業の稼ぐ力の強化」に向けて、本質的な課題解決に取り組む伴走型の企業サポートを強化していく。	
商工課	工業分野で市内企業を訪問し、経営や取引先等の相談・斡旋を行った件数(単年度)	件	—	13	13	13	5	5	11.0			
2	C	あげお工業フェアへの出展件数	32	32	33	32	31	—	32.0	★	あげお工業フェアでは、市民の事業所への理解を深めてもらうことを目的に、市内で生産された工業製品の展示や実演等を行っている。また、新たな取引の開始や出展者同士の情報交換などの交流の場にもなっており、市内工業の振興にも貢献していることから出展件数の維持と向上を図っていく。※R2は中止(予定)のため目標値は「—」とした。	
商工課	「あげお工業フェア」に出展した企業・団体の件数	件	—	32	33	34	33	—	33.0			
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	50%	1/2
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0/2
未達成	C 前年度より改善していないもの	50%	1/2

1 基本情報

大項目	たくましい都市活づくり
中項目	地域産業の振興
小項目	観光
施策の方針	歴史や自然など、本市独自の地域資源を活かすことにより交流人口を増やし、地域ににぎわいが生まれるような取組を進めます。また、食やイベント、土産などにおいて、本市ならではのものが創られ、産業の振興や上尾のブランド力の向上につながるよう取り組んでいきます。

2 現況と課題（平成31年度末の状況）

- 観光情報を集約化し、ニーズに応じたさまざまな媒体や形態で、市内外に本市の魅力を発信していくことが求められています。
- 上野東京ラインの開通を機に始まった県央地域(上尾市、鴻巣市、北本市、桶川市、伊奈町)等、広域での観光プロモーションを継続していく必要があります。
- 観光客の誘致に向け、特産品の開発や映画等の撮影場所のPRによる知名度の向上、あげお花火大会等のイベントの充実が必要となっています。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	R2
事業費(予算)	40,909	43,081	44,044	69,465	38,442
人件費(予算)	39,969	6,771	6,771	5,150	246
合計	80,878	49,852	50,815	74,615	38,688
対前年比	—	62%	102%	147%	52%

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	20%	1/5
未達成	B 前年度より改善しているもの	40%	2/5
未達成	C 前年度より改善していないもの	40%	2/5

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						H28-H31平均上:実績下:目標	4年間における達成度	取組内容とその評価・今後の方針
				H27	H28	H29	H30	H31	R2			
		課名	指標の説明(計算式)	方向性	各年度目標値							
1	A	観光協会ホームページ・農商工観ポータルサイトのアクセス数及び観光協会のツイッターのフォロー件数	件	300,000	343,403	402,966	456,626	621,874	—	456,217.3	★★★★	話題性のあるイベントや動画を使った市内企業の情報発信など、SNSを利用したPR活動を強化したことにより、年間を通して農商工観ポータルサイトのアクセス数が増加した。今後は、より効果的な情報発信を図るべく、現在のポータルサイトを廃止し、SNSを中心とした情報発信に切り替えるとともに、インフルエンサーを活用した情報発信も行っていく。これに伴い、令和2年度目標値は減少としている。
		商工課	観光協会HP・あげボタへのアクセス件数+観光協会ツイッターのフォロー件数(単年度)	件	—	330,000	350,000	440,000	500,000	105,000		
2	C	広域観光キャンペーン及びイベント数	回	7	3	5	8	6	—	5.5	★★★★	従来より行っていた近隣観光協会ほつと市など、下記の新規取組を実施することで本市のPRを強化できた。今後も他市他県のキャンペーンに積極的に参画する方針であるが、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で多くのイベントが中止となっているため、令和2年度の目標値は減少としている。 ・「埼玉観光・みやげフェア」に参加。上尾市の物産や観光についてのPRを実施(大宮駅) ・戸田競艇にて、上尾市物産展を開催し、上尾市の物産や観光についてのPRのほか、物販を実施(戸田市)
		商工課	広域観光キャンペーン及びイベントの開催数(単年度)	回	—	3	4	5	8	5		
3	B	観光協会推奨土産品認定件数	件	42	42	44	42	42	—	42.5	★★	観光協会推奨土産品認定により、当該土産品の普及ならびに品質の向上を図り、もって市内における産業の振興に寄与することを目的として実施している。平成31年度は認定の年度ではないため実績に変化はない。なお、令和2年度は、推奨土産品の認定の年であるので、平成31年度から始まった「あげお市民セレクション」などの推奨土産品に認定されるメリットを増やす取組を実施していくことで認定件数を上げていく。
		商工課	観光協会が推奨土産品として認定した土産品の件数(累計)	件	—	42	44	45	43	45		
4	B	映画等の撮影受付及び撮影実施数	件	88	56	54	33	60	—	50.8	★	市内の撮影場所のPR及びエキストラ募集等、映画やテレビドラマ等のロケーションの誘致や支援を行っている。問合せに対して積極的なロケ地の搜索など相談件数を上げる取組を行っていく。
		商工課	映画等の撮影受付件数+撮影が行われた件数(単年度)	件	—	88	88	88	88	88		
5	C	上尾夏まつり、あげお花火大会、あげお産業祭の来場者数	人	335,000	342,000	342,000	345,000	330,000	—	339,750.0	★★	花火大会及び産業祭来場者の利便性向上のため、会場及びその周辺においてハード面の整備を行っている。今後も実行委員、協力団体、来場者等の意見を参考にしつつ運営の改善を行っていく。夏まつりについては、事務局からの相談があれば適宜、運営のアドバイスを行っており、今後も継続していく。なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で本指標に係るイベントは中止となっているため、令和2年度の目標値は「—」とした。
		商工課	「夏まつり」「花火大会」「産業祭」の来場者数(単年度)	人	—	342,000	350,000	350,000	350,000	—		
6				—					—			
7				—					—			
8				—					—			
9				—					—			
10				—					—			
11				—					—			
12				—					—			

1 基本情報

大項目	たくましい都市活カづくり
中項目	労働環境の充実
小項目	勤労者・就労支援
施策の方針	市内の勤労者が安心して働けるよう、勤労者福祉の向上を進めるとともに、希望する市民が就労できるよう、国や県、近隣市町と連携して支援を行います。

2 現況と課題(平成31年度末の状況)

●市内の事業所の約93%を占める従業員30人未満の小規模な事業所は、勤労者の福利厚生対策等が十分とは言えないことから、勤労者の就労や生活の安定のため、勤労者福祉の一層の推進が必要です。

●変化する経済環境の中にあつて、希望しても就労できない市民もいます。就労を希望する市民に対し支援していく必要があります。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	R2
事業費(予算)	253,176	253,446	254,438	255,631	255,532
人件費(予算)	3,551	3,799	3,303	3,573	5,757
合計	256,727	257,245	257,741	259,204	261,289
対前年比	—	100%	100%	101%	101%

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						政策評価		取組内容とその評価・今後の方針	
		課名	指標の説明(計算式)	方向性	H27	H28	H29	H30	H31	R2	H28-H31平均上:実績下:目標		4年間における達成度
					各年度目標値								
1	C	上尾市勤労者福祉サービスセンターの会員事業所数		709	686	666	636	616	—	651.0	★	上尾市勤労者福祉サービスセンターは、中小企業の勤労者の福祉の向上を図るとともに、地域の企業の振興及び地域社会の発展を目的とした法人である。市内の事業所数の減少に伴い会員事業所数も減少しており、引き続き新規会員の加入を促進する取組を実施する。	
		商工課	勤労者福祉サービスセンターの会員事業所数(単年度)	人	—	710	710	710	710	710			710.0
2	C	就職面接会参加者の就職者数		4	7	5	11	3	—	6.5	★★	公共職業安定所の協力のもと、2市1町等で構成する雇用対策協議会主催の就職面接会を実施している。企業の経済状況や求職状況等によることもあり実績に多寡が生じているが、高校生をはじめ若年者に対し、早期に就業意識を醸成を図り、広く就職の機会を提供することができている。	
		商工課	雇用対策協議会主催の就職面接会の参加者で、実際に就職した人の数(単年度)	人	—	7	7	7	12	12			8.3
3				—						—			
4				—						—			
5				—						—			
6				—						—			
7				—						—			
8				—						—			
9				—						—			
10				—						—			
11				—						—			
12				—						—			

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	0%	0/2
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0/2
未達成	C 前年度より改善していないもの	100%	2/2